

.....

館園名 : 浦添市美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年02月01日

所在地

- ・ 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-9-2

公式サイト

- ・ <http://8761234.jp/>

設立主体

- ・ 浦添市

運営主体

- ・ 浦添市教育委員会

設立目的

- ・ 美術に関する市民の知識および教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するために設置。

展示概要

- ・ 琉球漆器、および県外・国外の漆器、その他沖縄の美術工芸品などを収集展示。
- ・ 常設展示「王朝文化の華・琉球漆器の美」。

活動概要

- ・ 企画展、講演会、琉球漆芸研究会議、漆芸・版画・陶芸の実習講座を開催。
- ・ 紀要・年報・図録などを出版。

延床面積

- ・ 3,360.89 m²

全職員数

- ・ 11名

年間運営費

- ・ 128,275千円(2003年度)

総資料点数

- ・ 1,279点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：NPO法人浦添市美術館友の会

活動目的・経緯

- ・ 浦添市美術館の事業に協力するほか、地域における文化芸術活動に寄与し、心豊かな社会の実現に貢献することを目的とする。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 650名（ 年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ 展覧会の監視、講習会・研修会・交流会の実施

活動その他

- ・ 同法人の会員を対象に募集。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://8761234.jp/>（浦添市美術館ホームページ）

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート 展覧会の監視等

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名 (年)

◇活動内容

- ・ 展覧会の監視講習会。
- ・ 研修会・交流会の実施。

◇活動日

- ・ 展覧会開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 事務局にて、会員の中から選考する。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前に展覧会の内容説明会を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 監視手当にて、交通費等を含む。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 沖縄県立博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1946年04月24日

所在地

- ・ 〒903-0823 沖縄県那覇市首里大中町1-1

公式サイト

- ・ <http://wl.nirai.ne.jp/oki-muse/>

設立主体

- ・ 沖縄県

運営主体

- ・ 沖縄県立博物館

設立目的

- ・ 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学などに関する資料を収集、保管、展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供するとともに、様々な普及活動を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うために設置。

展示概要

- ・ 考古・歴史展示室：旧石器人から近代にいたる沖縄の歴史を概観した展示。
- ・ 自然史展示室：特色ある沖縄の動植物を展示。
- ・ 美術・工芸展示室：書画、染色、漆器、陶磁器を展示。
- ・ 民俗展示室：農、漁、衣、食、住、葬、特別展示に分かれる。

活動概要

- ・ 博物館文化講座を実施。
- ・ 年報、紀要、総合調査報告書、博物館だよりなどを出版。

延床面積

- ・ 4,865 m²

全職員数

- ・ 18名。
他、委託職員（教育普及補助員、監視員）、9名。

年間運営費

- ・ 42,008千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 82,514点

その他

- ・ 施設の老築化が進み、現在新館を建設中。

2. ボランティア活動 名称：沖縄県立博物館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1993年7月、教育普及活動、および研究資料の収集・整備・充実を図るために、活動開始。
- ・ ①生涯学習の視点から、ボランティアがいつでも参加できる条件整備を行う、②自己啓発につながり、無理なく楽しく学べる場にする、③自治組織を育て、活動に意欲的に参加できる方向を目指すことを、活動の指針とする。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 78名（2004年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 61歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及課 担当人数：常勤1 名・その他（ ）1名

活動の種類

- ・ ①案内・誘導、②資料整理、③子ども活動の補助

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ ボランティアニュースを、月1回発行。
- ・ ボランティアの最高齢者は現在81歳。70歳以上の方が12名登録している。平均年齢は61歳である。
- ・ 館が養成講座を6回実施（教育普及活動・学芸員の仕事・歴史展示・自然史展示・美術工芸展示・民俗展示について学ぶ）。
- ・ 自己啓発にもつながる操作、体験の学習会を重視している。
- ・ 文化講座（野外巡検）の時の安全サポート。

関連する出版物

- ・ 年度ごとに、ボランティア活動記録集を発行。

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①案内・誘導（すべてのボランティア活動）

◇活動開始年

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 78 名（2004 年）

◇活動内容

- ・ 文化講座での案内・誘導。体験学習教室の支援。企画展・特別展等の解説補助。小学校・中学校・高等学校の博物館体験学習での支援。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動費として、年間 350,000 円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 展示室ごとに班に分かれ、要請があれば要望の人数を配置。
- ・ 学校団体の見学時には、各展示室へ 4～5 名配置して解説補助を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ボランティア運営委員会を毎月実施し、コーディネーターによる各班の世話係へ情報を流す。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 4 月より HP・新聞などで募集を行う。資格：ボランティア養成講座を 6 回受講し、希望者を書類審査の上、選考。定年制なし。毎年希望者は更新している。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前研修（職員による養成講座）6 回。登録ボランティア全員を対象とする専門講座を、6 回実施。各班別学習会を毎月 1 回実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 登録ボランティア全員、ボランティア保険に加入している（費用は館が負担）。
- ・ 館内は自由に入館でき、個人の学習の場としている。

◇評価

- ・ 意欲的に活動するボランティアが増えつつある。

◇課題と展望

- ・ 活動するボランティアが固定化してきているため、年度初めには活動の意志の有無を確認する必要がある。
- ・ 2007 年に開館する新館の展示に向けての勉強会が必要になる。

◇その他

- ・

活動個別シート ②資料整理

◇活動開始年

- ・ 1993 年

◇活動人数

- ・ 9 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 寄贈資料の台帳整理。
- ・ 新聞等の切り抜き整理。
- ・ 図書の整理。

◇活動日

- ・ 毎週水曜日に行う。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③子ども活動の補助

◇活動開始年

- ・ 年

◇活動人数

- ・ 名 (年)

◇活動内容

- ・ 子ども活動での補助活動。
- ・ 博物館体験学習教室での補助活動。

◇活動日

- ・ 土、日を中心に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 那覇市立壺屋焼物博物館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1998年02月10日

所在地

・〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋 1-9-32

公式サイト

・<http://www.naha-okn.ed.jp/tsuboya/>

設立主体

・那覇市

運営主体

・那覇市教育委員会

設立目的

・沖縄を代表する焼物「壺屋焼」をはじめ、沖縄の焼物の歴史や文化を明らかにし、学術的、美術的に価値のある資料や関連情報の収集に努め、その展示・普及に力を入れるとともに、地域の中核となる施設として市民・学校との連携を密にした博物館活動を展開することを目的に設置。

展示概要

・沖縄の焼物の歴史や「壺屋焼」の技法・道具の展示。博物館建設の際に敷地内から発見された登窯や県庁の敷地内から発見された平窯を展示。スライドによる映像シアターで壺屋の戦前から現代までの歴史を紹介。

活動概要

- ・毎年県内外の焼物をテーマとした企画展を開催。3年に1回県外のすぐれた焼物をテーマとした特別展を開催。新収蔵品展の開催。
- ・やきもの文化講座、夏休みやきもの体験教室、出前こども博物館、博物館実習などを実施。「ゆんたくコーナー」での情報の提供。
- ・図録、年報、紀要、などの発行。

延床面積

・1,852.58 m²

全職員数（常勤職員）

・8名（非常勤1名）（2005年1月現在）

年間運営費

・35,880,000円（2004年度）

総資料点数

・1,259点（2004年2月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：那覇市立壺屋焼物博物館 ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・平成 12 年度から 14 年度にかけて、館内の展示ガイドと博物館事業の補助ができるボランティアの養成を目的に講座を実施。平成 15 年 7 月にボランティアに登録を希望する方々を中心に、「ボランティアの会」として自主的に活動する組織を設立。当初は館内のみのガイドであったが、現在は博物館を中心に地域のガイドも実施。地域との交流を図るため、博物館と連携しながら様々な行事へ参加し活動の範囲を広げている。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 23 名（平成 17 年 1 月現在）
- ・ 男性：11 名、女性：12 名
- ・ 平均年齢 52 歳：男性 54 歳、女性 50 歳

ボランティア担当職員（平成 17 年 1 月現在）

- ・ 部局名称：那覇市立壺屋焼物博物館
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①展示解説、②地域ガイド、③図書・新聞切りぬき飼料の整理、④博物館事業の補助、⑤会誌の編集・発行。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ ボランティアにより自主的に運営。会長、副会長、庶務、会計、監事を置く。
- ・ 月 1 回の役員会で、月の活動方法や反省を行い館へ報告。
- ・ 年に 1 度総会を行う。
- ・ 博物館が実施するボランティアステップアップ講座で資質の向上を図る。

関連する出版物

- ・ 会報「まなぼら」毎月発行

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①展示解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 平均 6 名程度（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展の展示解説を行う。

◇活動日

- ・ 自己申告した日（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費（講師料・消耗品・保険等）として 169,000 円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 自己申告で月のシフトを決め、1 日（午前 or 午後）1～2 名程度で解説を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 解説を行った者がその日の日誌を記入している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在定期的なボランティアの募集はしていない。
- ・ 平成 12～14 年度のボランティア養成講座を受講、修了した者を対象に登録。ガイド証を交付。
- ・ 定年制なし。任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ステップアップ講座：展示解説に必要な知識を習得し資質向上を図る目的で、年 3 回程度実施。講師は、外部の専門家に依頼。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員がボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ガイドの常駐化を目標としているが、現人数では困難。
- ・ ボランティアルーム等、活動拠点となる場所の確保。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②地域ガイド

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 平均 6 名程度（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 団体・個人から要望があった際に、窯跡や工房など壺屋地域を案内する。

◇活動日

- ・ 不定期（団体から博物館へ依頼がある場合は、ボランティアと日程を調整して実施）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費（講師料・消耗品・保険等）として 169,000 円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ 会長から会員へ連絡し、時間の都合がつく者が行う。当日観覧者が希望した場合は、その日シフトしている者が可能ならば行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ ガイドを行った者がその日の日誌を記入している。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在定期的なボランティアの募集はしていない。
- ・ 平成 12～14 年度のボランティア養成講座を受講、修了した者を対象に登録。ガイド証を交付。
- ・ 定年制なし。任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ステップアップ講座: 展示解説に必要な知識を習得し資質向上を図る目的で、年 3 回程度実施。講師は、外部の専門家に依頼。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員がボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）
交通費としてバス券（往復）を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ガイドの常駐化を目標としているが、現人数では困難。
- ・ ボランティアルーム等、活動拠点となる場所の確保。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③図書・新聞切り抜き資料の整理

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 平均 3 名程度（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館の購入図書や寄贈図書の登録・新聞の切り抜き資料の整理。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費（講師料・消耗品・保険等）として 169,000 円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアからの自己申告で行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在定期的なボランティアの募集はしていない。
- ・ 平成 12～14 年度のボランティア養成講座を受講、修了した者を対象に登録。ガイド証を交付。
- ・ 定年制なし。任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ステップアップ講座: 展示解説に必要な知識を習得し資質向上を図る目的で、年 3 回程度実施。講師は、外部の専門家に依頼。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員がボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）
交通費としてバス券（往復）を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ ボランティアルーム等、活動拠点となる場所の確保。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：④博物館事業の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 平均 8 名程度（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館が実施する講座・教室等の補助。

◇活動日

- ・ 年 8 回程度。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア活動費（講師料・消耗品・保険等）として 169,000 円を計上。

◇運営（シフト 等）

- ・ ボランティアからの自己申告で行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在定期的なボランティアの募集はしていない。
- ・ 平成 12～14 年度のボランティア養成講座を受講、修了した者を対象に登録。ガイド証を交付。
- ・ 定年制なし。任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ステップアップ講座: 展示解説に必要な知識を習得し資質向上を図る目的で、年 3 回程度実施。講師は、外部の専門家に依頼。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員がボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）
交通費としてバス券（往復）を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 参加者の固定化で一部の人に負担がかかっている。
- ・ ボランティアルーム等、活動拠点となる場所の確保。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：⑤会誌の編集・発行

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 4 名程度（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 博物館が実施する講座・教室等の補助。

◇活動日

- ・ 毎月 1 回。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 会長・福会長を中心に、会員へ原稿依頼したり情報の提供を受けて編集・発行。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 現在定期的なボランティアの募集はしていない。
- ・ 平成 12～14 年度のボランティア養成講座を受講、修了した者を対象に登録。ガイド証を交付。
- ・ 定年制なし。任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ステップアップ講座: 展示解説に必要な知識を習得し資質向上を図る目的で、年 3 回程度実施。講師は、外部の専門家に依頼。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強会を実施（不定期）。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員がボランティア保険に加入している。（費用は館が負担）

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 参加者の固定化で一部の人に負担がかかっている。
- ・ ボランティアルーム等、活動拠点となる場所の確保。

◇その他

・